

令和 4 年 7 月 15 日

犬 山 市 議 会

議 長 三 浦 知 里 様

議員名 長谷川泰彦

下記のとおり、研修の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和4年7月13日(水) ～ 年 月 日() (泊 1日)
(2) 場 所	名古屋市公会堂
(3) 形 態	会派（令和新政クラブ）：その他（ ）
(4) 内 容	第22回あいち境界シンポジウム 「住まい みち みらい」主催：愛知県土地家屋調査士会 第1部：市民のために為すべきこと（愛知県碧南市長：禰 亘田正信） ・碧南市住生活基本計画で、旧市街地の活性化のために狭あい道路の整備促進及び空き家の除却・跡地利用を重点的に取り組む住宅施策として位置づけている。 第2部：愛知県住生活基本計画2030（愛知県知事：大村秀章） ・計画において、基本的な方針と8つの目標と3つの重点目標を掲げ、県民の安全安心な暮らしの確保と住まいの質の向上を図るとしている。 第3部：新たな住生活基本計画（国土交通省住宅産業適正化調整官：堀江直宏） ・新たな住生活基本計画において、社会環境の変化の視点から、安全な住宅市街地の形成を図るため、地方公共団体が実施する狭あい道路に係る整備費用に対して支援を行う。
(5) 成果・提言	住まいと街の将来像を、頻発・激甚化する災害等への備えと社会環境の変化の視点に立って、住生活環境整備を図るうえで、狭あい道路の整備促進において、境界を決め、地積をはっきりとさせることや、空き家対策のために空き家や空き地の利活用を促進させること。これらから市街地の活性化が図られ、安心・安全で住みよい街づくりにつなげていくことが考えられ、狭あい道路整備促進に向けた条例化の必要性を考える処である。

